



## 重要期日

2015年12月24日(木) 12:00

第9回年次大会演題登録

2016年3月31日(木)

第9回年次大会事前登録

## 関連セミナー

2016年2月13日(土)・14日(金)

第3回 遺伝看護「家族ケアと倫理」

<http://jsgc-form.info/ikc2015/>

JNEA: Japan Nursing Ethics Association

# NEWS LETTER No. 9

2015年12月

## 日本看護倫理学会会員情報誌

### 第9回年次大会のご案内

このたび、会員、関係者の皆様のご支援・ご協力を賜り、日本看護倫理学会第9回年次大会を2016年5月21日・22日の2日間、京都市で開催できますことを心より感謝申し上げます。

今回の年次大会のテーマは、「看護における“アドボカシー”を問う」と致しました。周知の通り、わが国は、他国に例を見ないスピードで超高齢・多死社会を迎えています。このため、2025年を目処に地域包括システムの構築が急ピッチで進められています。

また、2013年8月には社会保障制度改革国民会議報告書がまとめられ、これからの地域医療再編成の基本的な方向は「病院完結型医療から地域完結型医療へ」であることが明確となりました。こうした国の方針を受けて、看護師は退院支援や退院調整を積極的に取り組んでいます。ソーシャルサポートが十分に

整備されていない状況でのこれらの実践は、真に患者の意向を尊重しているのかなどのジレンマを感じることも少なくありません。

年次大会では、会員の皆様をはじめ、さまざまな場で活躍されている看護職の皆様と一緒に、今後、看護が果たすべき役割の一端を「アドボカシー」を通して、探究する2日間になりたいと思います。ご参加いただく皆さまの有意義な時間となるよう、関係者一同準備を進めております。

5月の京都市は木々の緑がとても美しい季節です。活発な意見交換の後には、世界で最も魅力的な京都の景観をお楽しみ下さい。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

大会長 田村 恵子

会期:2016年5月21日

~22日

会場:京都テルサ



## 学会より 「医療・看護を受ける高齢者の尊厳を守るガイドライン」

### 「身体拘束予防ガイドライン」を公表しました。

日本看護倫理学会臨床倫理ガイドライン検討委員会では、「医療・看護を受ける高齢者の尊厳を守るガイドライン」「身体拘束予防ガイドライン」を作成し、2015年9月30日より学会ホームページ (<http://jnea.net/>) に公表しました。皆様の日々の看護実践に本ガイドラインをぜひご活用下さい。有効だった活用方法やお気づきの点などにつつま

しては、学会事務局メールアドレス [support@jnea.net](mailto:support@jnea.net) 宛てにご意見を頂けましたら幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 新理事長からのご挨拶

平成27年度より、高田早苗初代理事長より引き継ぎ、理事長を務めさせていただきます長谷川です。よろしくお願いいたします。

日本看護倫理学会は平成20年（2008年）に設立され、看護倫理の知の体系化をめざし、看護倫理に関心をもつ実践者・研究者・教育者の交流を支援するとともに、看護倫理に関する政策提言を行うことを目的に活動を続けてまいりました。

年次大会の開催、学会誌発行、学術活動推進などの事業を遂行し、会員も860名（平成27年5月現在）を擁する学会へと成長してきました。第8回年次大会（関西国際大学 佐藤禮子会長）は、1100名を超える皆様のご参加のもと盛会裡に終了することができ、交流セッションやポスターセッション会場では活発な意見交換がなされました。

本学会は、会員の約半数が医療機関に所属する実践者が占めるという特徴をもち、身体拘束や高齢者の尊厳を守ることに関する課題を持っている看護師も多いと思います。平成24年度からは、看護師臨床倫理ガイドラインの作成に取り組み、この8月に完成しました。今後はこのガイドラインの普及に努めてまいります。

本学会は、看護倫理に関心を持っている実践者・研究者・教育者が議論を重ね、全国の臨床現場で倫理性の高いケアが実践されることを探求していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

理事長 長谷川 美栄子

## 学術活動推進委員会からご挨拶

この委員会では、昨年に引き続き「災害支援ナースが直面した倫理課題に関する調査」の結果に基づく教材作成を試みています。また、次の学会でも皆様と、「倫理について組織的にどのような取り組みをしているのだろうか、どうすれば倫理的な文化が醸成できるのか」を共に議論し交流できる機会を設けたいと準備を進めています。

看護実践に生じる価値・権利に関する疑問、葛藤を解こうとする瞬間、プロフェッショナルである自分を見つめる機会になります。その瞬間、織りなしている人間関係と意思決定の道理を実践しながら考える一看護倫理があることを、学会員の皆様と共に探究できるように推進していきたいと思っております。

委員長 北村 愛子

## MEDICAL FINDERの更新について

本学会では、会員サービスの一環として、医学書院の学術誌閲覧サービス『Medical Finder』を提供しています。

本学会員であれば無料で利用することができます。ご利用方法は学会HPに掲載しておりますので、ご活用ください。

なお、本サービスのご利用に必要なアクセストークン用の本会専用URLは以下のとおりです。（2016年11月30日まで）

<http://medicalfinder.jp/r/JNEA2015>

## 活動報告

### 第三期学会役員のご紹介

**理事長** 長谷川美栄子（臨床倫理ガイドライン検討委員会）

**副理事長** 八代 利香（編集委員会）

**理事** 安藤 広子（会計）

北村 愛子（学術活動推進委員会）

久保田 聡美（広報委員会／日本看護系学会協議会）

坂田 三允（編集委員会）

鶴若 麻理（臨床倫理ガイドライン検討委員会／学術活動推進委員会）

山下 早苗（庶務／日本看護系学会協議会）

永易 裕子（会計）

浦出 美緒（庶務／日本看護系学会協議会）

小島 操子（監事）

佐伯 恭子（監事）

\* 事務局は日本赤十字秋田大学内に移転をしています。お問い合わせ等は support@jnea.net が窓口となっておりますので、ご周知ください。

\* 新評議員はHPよりご確認ください。入会にあたり評議員の推薦が必要な方がいらっしゃいましたら、お近くの評議員とご連絡をお取りください。

### 編集後記

今期より広報委員長を賜りました久保田です、広報委員は他2名（小笹由香、ウイリアムソン彰子）の少人数制で委員会はネット上で効率的に進めてまいります。最新情報はHPで更新しますので、よろしくお願いいたします。